

防災手帳

★いざという時のために、常時携帯してください。
(震度5強以上の地震発生時に安否連絡をする)

■家族等への安否連絡

◆ NTT災害時伝言ダイヤル「171」
災害(震度5強以上の地震等)の発生時にNTTにより提供されます。

録音 171 → 1 → 被災地の電話 → 伝言番号を市外局
再生 171 → 2 → 番からダイヤル → 再生

◆ 携帯電話の災害用伝言板
災害発生時に携帯電話各社から提供されます。

録音 トップ画面の「災害用伝言板」を選択
→ 「登録」を選択して伝言する。
確認 トップ画面の「災害用伝言板」を選択
→ 「確認」を選択して被災地の人の
携帯番号を入力して伝言を確認する。

■大学への安否連絡

◆ 大学から学生のCアカウントメールに配信する安否確認システムに安否情報を登録する。
◆ ITシステムを利用できない場合は所属学部等の連絡先へ、氏名・避難先・状況等を連絡する。

徳島大学

■所属学部, 研究科連絡先

総合科学部/
創成科学研究科(地域創成専攻)(臨床心理学専攻)(創成科学専攻)
学務係 088-656-7108, 2154
skgakumc@tokushima-u.ac.jp

医学部 医学科・医科栄養学科
第一教務係 088-633-7028
isygakumu1c@tokushima-u.ac.jp
学生係 088-633-7982
isygakumuss1@tokushima-u.ac.jp

医学研究科/医科栄養学研究科
第一教務係 088-633-9649
isygakumudgc@tokushima-u.ac.jp

医学部 保健学科/保健科学研究科
第二教務係 088-633-9009
isygakumu4c@tokushima-u.ac.jp

歯学部/口腔科学研究科
学務係 088-633-7310
isygakumu2c@tokushima-u.ac.jp

薬学部/薬学研究科
学務係 088-633-7247
isygakumu3c@tokushima-u.ac.jp

理工学部/創成科学研究科(理工学専攻)(創成科学専攻)
学務係 088-656-7315, 7317
st_gakmuk@tokushima-u.ac.jp

生物資源産業学部/創成科学研究科(生物資源学専攻)(創成科学専攻)
学務係 088-656-8020, 8021
bb.stu.section@tokushima-u.ac.jp

■家族・友人の連絡先 要記入

氏名

住所(避難先)

TEL

Mail

氏名

住所(避難先)

TEL

Mail

■本人情報 要記入

氏名

フリガナ()

学部(学科)または研究科(専攻)

血液型

持病・アレルギー

住所

電話番号

地震・津波時10分間行動マニュアル

避難時の注意事項

常三島地区避難場所等

蔵本地区避難場所等

地震発生

↓
・落ち着いて自分の身を守る。
机などの下へ

1~2分 揺れがおさまったら

- ・火元の確認
(火が出ていたら、落ち着いて消火)
- ・非常出口の確保
- ・スリッパ・靴を履いて、室内にいる家族友人の安全を確認
- ・防寒具・貴重品・薬・防災備品の確保

3分 全員の無事確認・火災の発生を防ぐ

- ・漏電(ブレーカーを落とす)・ガス漏れに注意
- ・周辺に声をかける。
- ・津波から避難
(常三島:3階以上の鉄筋のビル、高台へ)
(蔵本:2階以上の鉄筋のビル、高台へ)
- ・余震に注意(他の安全な場所へ避難)

5分 ラジオ等から情報収集

- ・デマに惑わされない。
- ・車では逃げない。
- ・防災機関の情報収集

10分 身の安全を図る

避難時の注意事項

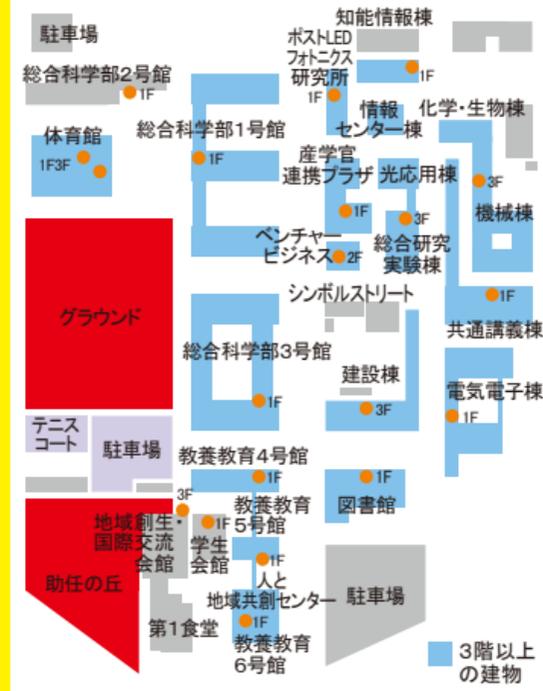
- 小さな揺れでも津波の危険性有。すぐに頑丈な建物の3階以上(蔵本地区は2階以上)へ避難。
- 揺れなくても津波がくることもある。大津波警報(3m以上), 津波警報(1~3m)が出たら避難。
- 避難時は「逃げろ」と周りの人へ声をかけて。
- 警報が解除されるまで避難先で待機。
- 帰宅する場合は落下物や飛散物に注意し、できるだけ複数人で行動する。
- 津波注意報では海に近づかない。
- 大学から安否確認メールが届いたら、避難(帰宅)先を大学に必ず連絡する

家のハザードマップと備蓄品の確認



火災等の緊急時避難場所

※津波の危険性がある場合は建物の3階以上へ避難 ● AED



火災等の緊急時避難場所

※津波の危険性がある場合は建物の2階以上へ避難 ● AED ● 公衆電話

